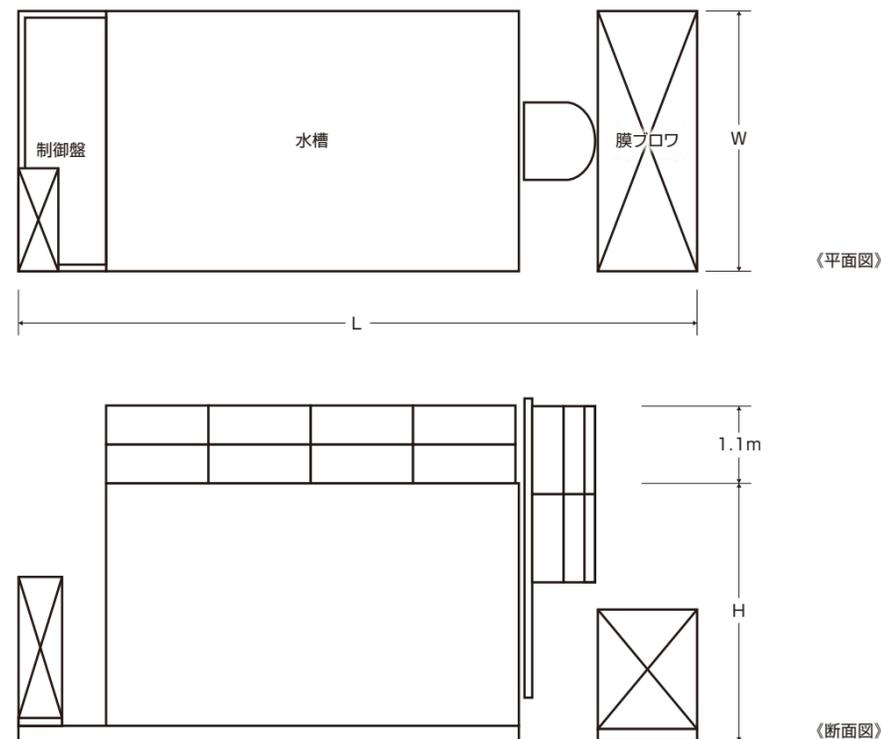


クボタ液中膜パッケージ®

液中膜パッケージ®仕様

型式	膜面積 [m ²]	最大処理水量 [m ³ /日]	使用膜ユニット	寸法(ベース含) [m]			乾燥重量 [kg]	運転重量 [kg]	付帯機器 [kW]					
				長さ(L)	幅(W)	高さ(H)			膜ブロウ	吸引ポンプ	汚泥移送ポンプ	汚泥返送ポンプ	処理水排出ポンプ	消泡剤注入ポンプ
KMP1	60	20	FS75×1台	4.5	2.6	2.8	3,200	10,100	1.5	0.25	0.25	0.25	0.25	0.01
KMP2	120	40	FS75×2台	5.5	2.6	2.8	4,100	14,900	2.2	0.25	0.4	0.25	0.25	0.01
KMP3	180	60	FS75×3台	6.5	2.6	2.8	5,100	19,800	3.7	0.25/0.3	0.4	0.4	0.4	0.01
KMP4	240	80	FS75×4台	7.5	2.6	2.8	6,100	24,700	3.7	0.25/0.3	0.4	0.4	0.4	0.01
KMP5	300	100	FS75×5台	8.5	2.6	2.8	7,200	29,700	3.7	0.4	0.75	0.4	0.4	0.01
KMP6	360	120	FS75×6台	9.5	2.6	2.8	8,300	35,800	5.5	0.4	0.75	0.4	0.4	0.01

- *最大処理水量は、活性汚泥などの条件により異なります。
- *運転重量は、各水槽の最大水深における水重量を考慮した重量となります。
- *寸法について、長さ(L)は水槽と膜ブロウの標準配置長さ、幅(W)は槽外配管を含む最大幅を示し、高さ(H)は水槽上部の手摺高さ(1.1m)を含みません。
- *液中膜パッケージは、水槽と膜ブロウを分割して搬送します。
- *付帯機器：吸引ポンプについて、併記のものは[50Hz/60Hz]を示します。
- *付帯機器：消泡剤注入ポンプ(タンク含む)は、オプション品となります。
- *液中膜パッケージ®では、保温対策を講じておりません。必要な場合は、お客様手配にてお願いします。
- *記載の数値は参考値であり、仕様・外観は変更する可能性があります。



「液中膜®」および「液中膜パッケージ®」は、株式会社クボタの登録商標です。

株式会社クボタ 《膜システム部》

<http://env.kubota.co.jp/ekityumaku/>

東京本社 〒104-8307 東京都中央区京橋2丁目1番3号 TEL 03-3245-3773
 阪神オフィス 〒661-8567 兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号 TEL 06-6470-5140

2018.03.1.5.KES.ES



いのちを育む水を守る
 新たなかたち

For Earth, For Life
Kubota

信頼と実績のある液中膜を関連機器とパッケージ化し、お客様の排水処理施設を迅速にバックアップ!

液中膜パッケージ®の特徴

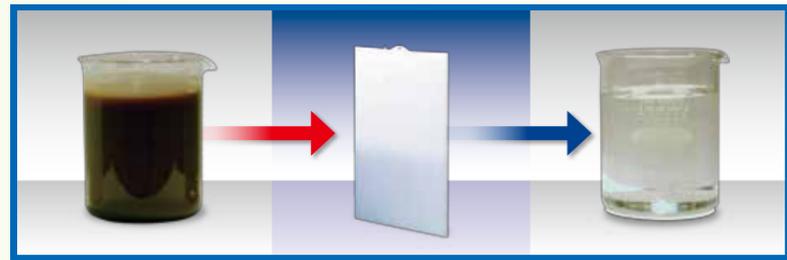
▶ 短期間で簡単な現場施工

液中膜による膜分離法のコンパクト性を活用し、膜ブロウ、吸引ポンプ、制御盤などすべてをオールインワンパッケージとすることで、設置作業が簡単でスムーズな立ち上げが可能となります。

☆パッケージは、15t低床平ボディ車で搬送できます。

▶ 安心・安定な処理水質

SSや病原性大腸菌を含まないきれいな処理水を安定して得ることができます。したがって、膜の処理水は再利用が可能です。また、液中膜保証システム*をご契約頂ければ、処理水SS: 2mg/L以下を保証致します。



▶ 簡単なメンテナンス

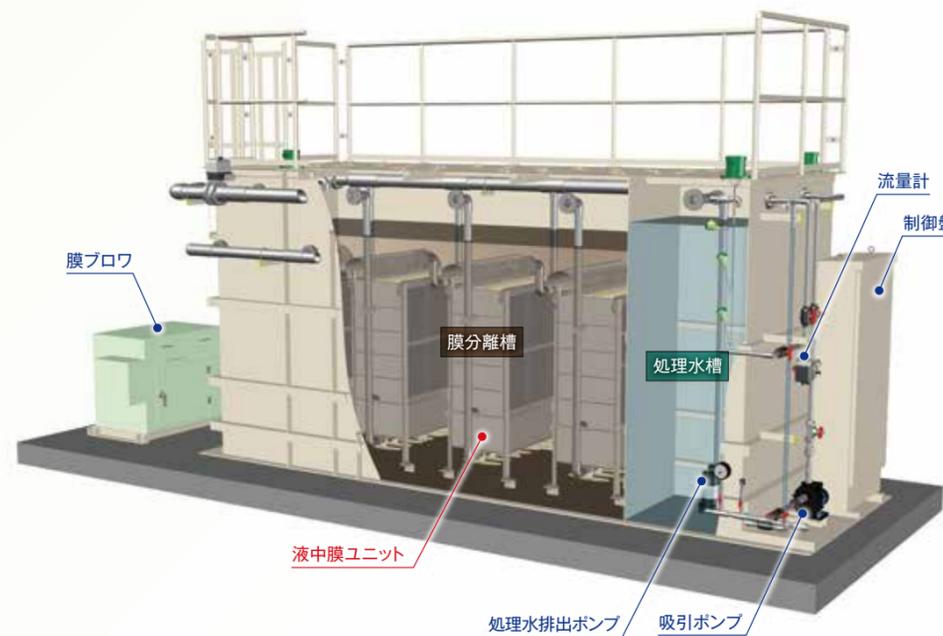
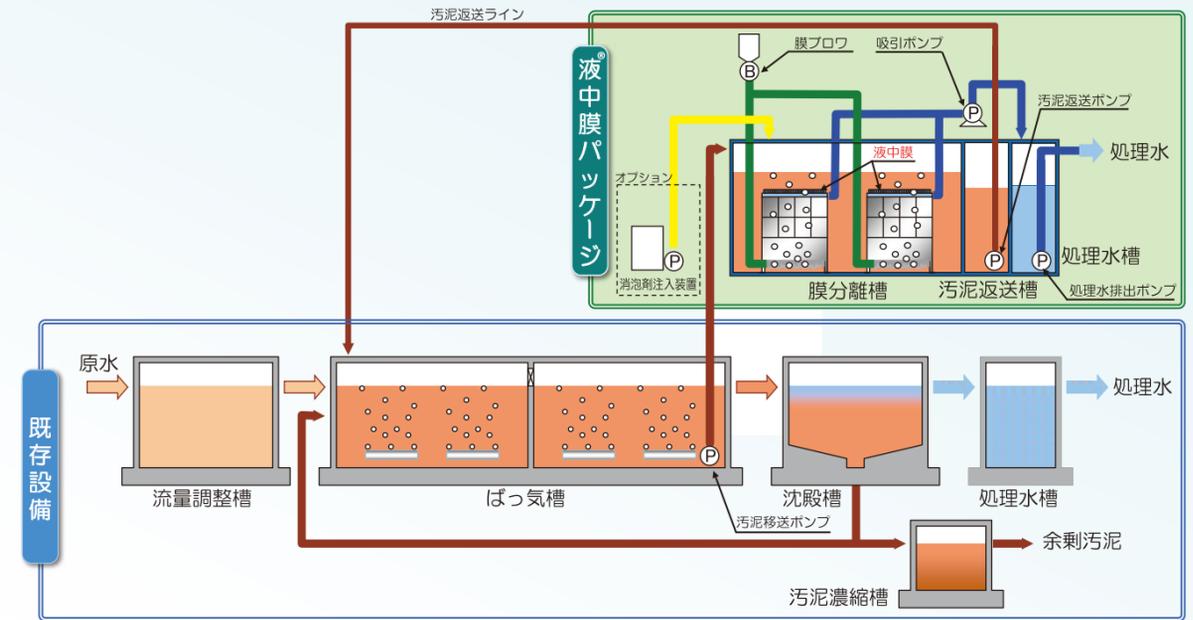
従来法のような沈殿槽管理がなく、数値管理が主体で分かり易く、メンテナンスが容易で安定した運転が可能です。さらに、液中膜保証システム*と組み合わせることにより、長期にわたり安心してご使用いただけます。

液中膜保証システム*のサービス例



*液中膜保証システムは、クボタメンブレン㈱によるアフターサービスです。

適用フロー例 (沈殿槽併用タイプ)



液中膜パッケージ®の用途例

固液分離装置として、以下の用途が挙げられます。

- ▶ 季節変動などによるピーク水量時の既存設備の補完用として
- ▶ 沈殿槽の負荷低減および安定化対策として
- ▶ 既存設備トラブル時の緊急対策用として